県　政　報　告

広島県議会１２月定例会は、１２月１０日から１２月２２日までの１３日間の日程で開催され、補正予算や条例改正などを審議しました。

《令和７年度１２月定例会の概要》

■補正予算額　４６０億６，７００万円

９月補正予算編成後の状況変化等を踏まえ、かきのへい死対策、物価高や米国関税措置への対応、県土の強靭化など、必要性が認められる取組について、時機を逃さず実施する。

１　かきのへい死対策（融資枠を含む実質対策事業費）　５，００５百万円

○　かき養殖業経営体の経営安定化に向けた支援 かきのへい死による減収等により、厳しい経営状況にあるかき養殖業経営体に対し、必要な運転資金を無利子で融通	［債務］［412 百万円］ 《融資枠：30 億円》
○　かき養殖業経営体における再生産への支援 かき養殖業経営体に対し、来期出荷用のかきのへい死状況を踏まえ、かきの生産量を維持するための再生産を支援	2,000 百万円
○　かきのへい死の原因分析 かきの養殖過程などの実態把握調査を実施した上で、漁場環境データ等を用いて、かきのへい死の原因を分析	5 百万円

２　物価高・米国関税措置への対応　１２，６０６百万円

○　医療・介護・福祉サービスを受けられる体制の整備 国の「医療・介護等支援パッケージ」に基づき、報酬改定の時期を待つことなく、医療・介護・障害福祉分野における賃上げ等を支援	9,337 百万円
○　医療機関・社会福祉施設等への支援 医療機関・社会福祉施設等に対して、物価高騰による光熱費や食材費などの高騰の影響を緩和するため、価格高騰の影響額の一部を支援	1,199 百万円
○　ＬＰガス料金高騰に対する支援 家庭業務用ＬＰガスを使用している県内の一般家庭及び中小企業等に対して、ＬＰガス販売事業者を通じ、料金高騰の影響額の一部を支援	1,085 百万円
○　特別高圧電気料金高騰に対する中小事業者等への支援 特別高圧契約により受電した電気を使用する県内中小事業者等に対して、電気料金高騰の影響額の一部を支援	405 百万円
○　中小企業等への賃上げ環境整備に対する支援 物価高等の影響を受けている中小企業等に対して、持続的に賃上げを実施できる環境整備のための設備投資等の取組を支援	56 百万円

○　県内製造業者等に対する高付加価値な製品開発等への支援　500 百万円

物価高や米国関税措置による影響など、厳しい経営環境下において、県内製造業者等が研究開発への投資を減退させることがないよう、高付加価値な製品開発等を支援

○　県立・私立学校等における給食費等の負担軽減　25 百万円

食材価格が高騰する中においても、これまでどおり栄養バランスや量を保った学校給食等を実施するため、県立・私立学校等に対して、学校給食等における米飯の価格上昇分を支援

３　県土の強靭化　２４，７３９百万円

○　公共事業　24,739 百万円

・　令和７年９月の大雨により発生した土石流等について、今後の出水による人家等への被害を防止するため、緊急的に必要となる対策を実施　750 百万円

【内訳】

〔補助公共事業〕

・　砂防事業　372 百万円（砂防堰堤の整備）
・　治山事業　378 百万円（治山施設の整備）

・　県民の安全・安心を支える防災・減災対策等を着実に推進　23,989 百万円

【内訳】

〔補助公共事業〕

・　道路事業　5,772 百万円（道路の整備等）
・　河川事業　3,381 百万円（護岸の整備等）
・　砂防事業　4,275 百万円（砂防堰堤の整備等）
・　海岸事業　352 百万円（護岸改良等）
・　港湾事業　1,310 百万円（港湾の整備等）
・　漁港事業　102 百万円（漁港の整備）
・　街路事業　957 百万円（道路の整備等）
・　農業農村整備事業　2,822 百万円（農地整備、ため池の改修等）
・　治山事業　641 百万円（治山施設の整備）
・　林道事業　46 百万円（路網の整備）
・　造林事業　354 百万円（間伐・保育等の実施）

〔国直轄事業負担金〕

・　道路事業　2,151 百万円（道路の整備等）
・　河川事業　856 百万円（護岸の整備等）
・　砂防事業　306 百万円（砂防堰堤の整備等）
・　海岸事業　150 百万円（護岸・堤防の整備）
・　港湾事業　515 百万円（港湾の整備等）

４　その他　　６，７１７百万円

○　イノベーション・ハブ・ひろしま　Ｃａｍｐｓの運営 イノベーション創出拠点であるイノベーション・ハブ・ひろしまＣａｍｐｓの令和８年度の企画運営を４月から委託して実施	［債務］［32 百万円］
○　離転職者を対象とした委託訓練の実施 令和８年４～６月開始の離転職者を対象とした介護・ＩＴ分野等の職業に必要な知識、技能を習得するための訓練を民間教育訓練機関等に委託して実施	［債務］［171 百万円］
○　人事委員会勧告を踏まえた給料表の改定等 県人事委員会の勧告を踏まえた給料表の改定等を実施 【一般会計 6,524 百万円】 【特別会計（県営住宅事業費特別会計など４会計） 12 百万円】 【企業会計（流域下水道事業会計など２会計） 9 百万円】	6,544 百万円
○　国の法令改正を踏まえた教員給与の見直し 令和８年１月から教員給与の見直しを実施 ・ 教諭等に支給される教職調整額の引上げ（給料月額の４％⇒５％） ・ 教頭・校長等の給料月額への加算額の引上げ ・ 義務教育等教員特別手当の上限額の引上げ 等	172 百万円

■条例〔６件〕

【改正】（６件）

○広島県手数料条例等の一部を改正する条例　　など

■人事案件〔１件〕

○広島県収用委員会委員の任命の同意について

■その他の議案〔２５件〕

○工事請負契約の締結について　など

■１８０条専決処分報告〔５件〕

○工事請負契約の変更について　など

■意見書〔５件〕

○非核三原則の堅持を求める意見書
○カキ養殖の事業継続に向けた支援等を求める意見書
○ガソリン税・軽油引取税の暫定税率廃止に伴う安定的な代替財源の確保を求める意見書
○北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書
○巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書

県政史上初の女性知事が誕生しました

■　令和７年１１月９日の知事選挙において、横田美香氏が当選し、県政史上初となる女性知事として、第６７代広島県知事に就任されました。女性参政権８０年となる本年、国においても憲政史上初の女性の内閣総理大臣が誕生したところであり、女性活躍や多様性の推進という観点からも、大きな意義を持つものであります。

■　本県は、１６年ぶりに新しい知事を迎えたところでありますが、少子高齢化、人口減少、若者の転出超過を始め、物価高や米国関税措置への対応、社会資本の老朽化など、対処すべき課題が山積しており、我々県議会としても、県政の両輪として、横田新知事とともに諸課題に取り組み、活力ある広島県の実現のため、最善を尽くしてまいります。

１２月定例会開会日の所信表明

会派への就任挨拶

広島市安佐北区選挙区補欠選挙で当選した水口弘士氏が「自民議連」に加わりました

■　令和７年１１月９日に行われた広島県議会議員広島市安佐北区選挙区補欠選挙で当選した水口弘士氏が、私が会長を務める県議会最大会派「自民議連」に加わり、会派所属の議員が３５名となりました。